

登録日 2016/5/18

登録番号 Ova019

腫瘍名 卵巣がん

申請医師 産婦人科

### 投与スケジュール

PLD+Bmab				28日毎×PDまで	
				1コース	2コース
				1	29 ... (day)
①	デキサート 生理食塩水	6.6 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓
②	ドキシル 5%ブドウ糖	50 mg/m <sup>2</sup> 250 mL	点滴 90分 <b>投与量が90mg以上の時は溶媒を500mLとする</b>	↓	↓
③	生理食塩水 (フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓
④	ベバシズマブBS 生理食塩水	15 mg/kg 100 mL	点滴 30分 <b>初回90分、2回目60分、3回目以降30分に短縮可能</b>	↓	↓
⑤	生理食塩水 (フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓

  

維持療法の場合、下記の方法でベバシズマブBSのみ継続				21日毎×PDまで	
				1コース	2コース
				1	22 ... (day)
①	生理食塩水 (プライミング用)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓
②	ベバシズマブBS 生理食塩水	15 mg/kg 100 mL	点滴 30分 <b>初回90分、2回目60分、3回目以降30分に短縮可能</b>	↓	↓
③	生理食塩水 (フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓

### 注意事項

- ・プラチナ抵抗性再発卵巣がんの使用
- ・併用療法はPDや毒性中止まで継続。
- ・維持療法を行う場合、ベバシズマブBSのみ継続投与する。
- ・投与量が90mg以上の時は、溶媒を500mLとする。
- ・Infusion reaction発現の危険性を最小限にするための投与速度は、1mg/minを超えないこと。
- ・心筋障害の投与中止の目安
  - ①LVEF値が45%を下回った時。
  - ②投与前LVEF値より20%以上の低下がみられた時。
- ・初回投与時のLVEF値は50%以上が目安。
- ・Infusion reaction発現後に投与を再開する場合、0.7mg/min以下になるよう投与速度を遅くする。
- ・ルートにインラインフィルターを使用しない(リポソーム製剤のため、粒子が詰まるため)
- ・ベバシズマブBSは、初回90分、副作用がなければ2回目60分、3回目以降30分に短縮可
- ・臨床試験ではベバシズマブBSの減量はしない基準であった。

### 参考文献

1) Eric PL, et al, Bevacizumab combined with chemotherapy for platinum-resistant recurrent ovarian cancer: The AURELIA open-label randomised phase III trial, 32, J Clin Oncol, 1302-1308 (2014).